

# 東北学院中学校第1学年 授業プラン

授業者 大曾根 良憲

1. 日時： 2月15日（木）13:20 ~ 14:10
2. 対象： 中学校1年 C組
3. 場所： 中学校1年 C組教室
4. 教材： 「共有シートで学ぶ地球誕生から現在までの地質年代」

## 5. 授業デザイン（授業のみどころ）

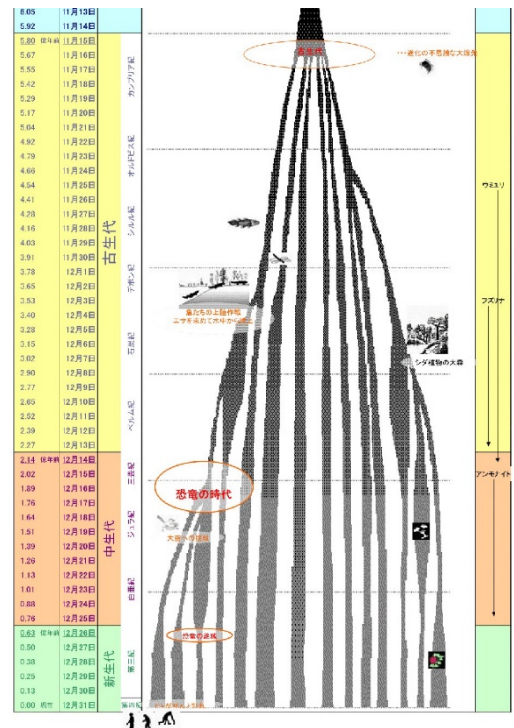
※網掛けが授業で大切にしたいポイント。網掛けが濃いほど重要度が高い。

手法/観点	主体性	知的好奇心	考え深める
ICT			
協働学習			
発表・活動			

単元「地層から読みとる大地の変化」では「示準化石と地質年代」の学習において、46億年前に地球が誕生してから現在まで地球環境の変化とともに、さまざまな生物が出現し、絶滅し、変遷してきたことを学ぶ。

しかし、46億年という歳月は、1年間のカレンダーでみると、人類出現が12月31日の午後であり、長さや広がりには膨大である。そこで、その時間スケールの大きさをより体感的にとらえさせたいと考え、地球史46億年という表計算シートによる教材を作成し、これまでの実践においては、もっぱら教師主導の提示用教材として利用してきた（上図）。

そこで、生徒一人に1台という双方向的なICT環境が整ったのを機に、この年表シートを生徒のパソコン上からも共有し編集できる年表シートとしてリメイクすれば、その協働的な学習環境をとおして、これまで以上に実感のある学びとしていくことができるのではないかと考えた。



## 6. 今日の授業の焦点は？

今日の学習では、前時の復習と導入を兼ねた10min動画の視聴に続いて、8班編成のワークグループで地質年代ごとに年表作成を分担しあい、学級全体として1つの大きな地球史年表シートを作成していく(約20分)。次に、自分たちで作成した地球史年表シートをもとに、グループごと課題の考察を行なう(学級全体での考察も含めて約15分)。事前の十分な確認が及ばず、不具合発生の懸念もあるが、各グループの考察内容は、入力を終えるごと1枚の共有シート上へ集約されるよう工夫したので、互いの学びが共有され、また深め合っていく様子についても、必要に応じて教室前面のスクリーン上で、リアルタイムに追うことができる。

以上、グループワークによる能動的な協働学習をとおして、『さまざまな生物と地球とが長い年月をかけて共につくりあげてきた大地の上で、今わたしたちは、くらしている』ということ、生徒たちがどのように受け止め、また理解し、さらには、これから先の学びへとつなげていけるかといった変容の様子や手応えなどを、多少なりとも直に見届けていただくことができれば幸いです。

[授業で使用する教材・ワークシート等はこちらから [大曾根良憲](#) Web検索 (^\_^)/]